

救急救命 4人で連携

下京勤務の会社員らに感謝状

AEDなど使用 講習受講奏功

歩道で倒れた男性に、胸骨圧迫による心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)を施し、救命につなげたとして、下京消防署は22日、会社員4人に感謝状を贈った。4人は救急救命のための講習を受講した経験があったという。

京都市下京区の京都リサーチパーク内で勤務する会社員の大久保康さん(44)、東村茂雄さん(52)、中尾成宏さん(45)、坂之上悦典さん(57)。

あなたの勇気に「ありがとう」



京都市消防局
KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT

京都新聞

7月23日

木曜日

京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.

発行所 〒604-8577
京都市中京区烏丸通夷川上ル

迅速な応急手当てで男性を救命したとして、表彰された(左から)大久保さん、東村さん、中尾さん、坂之上さん



6月3日午前8時すぎ、出勤途中の大久保さんが同パーク東側で倒れている60代の男性を発見。呼吸をしていなかったため、近くの人に大声で協力を求めながら、胸骨圧迫を始めた。東村さんと中尾さんがAEDを持って駆けつけ2回使用、坂之上さんも交代で胸骨圧迫を行うなど救急車が到着するまでの約8分間、処置を続けた。男性はその間に息を吹き返した。

4人とも救急救命のための講習を受けていたといい、大久保さんは「何をすべきか分かっていたので迅速にできた。受講していたよかった」と話し、東村さんは「協力し合えたので、落ち着いてできた」と笑顔だった。

男性はすでに社会復帰しているという。同署の担当者は「応急処置がなければ、命に危険があった。こんなに確かな連携プレーはめったにない」と感心していた。(藤松奈美)